

現在の広域行政は、無責任です。

消防、ゴミ処理、葬儀場、松寿荘の経営、東松山市市民病院伝染病隔離病棟、公共下水道など、嵐山町だけでなく、近隣の市町村と共同で事業を行っています。嵐山町は、広域で行わざるえない事業も多いのです。

広域行政をどのようにあこなっていくのか、国、学者は論じています。

市町村合併促進法の制定や、地方自治法を改正して、広域連合の制度をつくりました。

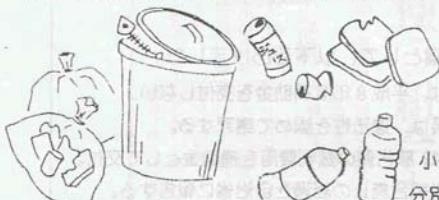
町村の首長や、議員は、広域行政を論じません。

選挙の問題もからんでくるからです。

◆広域行政は、一部事務組合方式（小川地区衛生組合、比企広域）で行われているものと、単に、共同で事務処理を行っているものが、あります。

◆一部事務組合は、管理者は、構成町村の首長です。◆議員は、構成町村の議員から選任されます。◆職員は、組合職員と、構成町村からの派遣職員がいます。◆事業経費は、構成町村が負担します。◆一部事務組合は、構成町村の寄せ集め団体です。

◆広域行政は、重要な仕事をしています。しかし、情報が、住民に提供されていません。ほとんどの住民は、広域行政を知らないので、住民監視がないに等しいのです。



プラスチックごみのリサイクルは、
正しい手続きで、取り組んでほしい。

小川地区衛生組合では、プラスチックの分別収集をはじめる計画です。町村が収集したプラスチックは、嵐山花見台工業団地にある竣工計画に搬入して、竣工計画が、ハウス栽培で使う燃料にリサイクルするという方向です。竣工計画は、6月1日が竣工式、8月1日が操業開始です。ところが、小川町は、4月からプラスチックを収集し、竣工計画に搬入する計画でした。嵐山町、滑川町、玉川村、都幾川村、東秩父村は、10月からです。小川町が、竣工式の前から搬入する計画は、間違っています。嵐山町議会文教厚生委員会は、町長に、安全確認がされないうちは、工計画に搬入するのを許可しないよう申し入れました。小川町のプラスチックごみは、4月より収集されていますが、まだ、竣工計画に搬入されていません。プラスチックを、ごみとするのか、熱エネルギーとするのかは、分別と、受入先の状況にかかっています。

小川地区
衛生組合

議会質疑で、解決できず、監査請求、裁判と争ったものがあります。

慣例や、既得権利として、定着しているものを、変えていこうとすると、利益を受けている人から抵抗があります。

今回の衛生組合視察費監査請求は、議員の内部告発です。情報公開が進めば、住民監視ができます。

行政が、なあなあでは、行政改革は、進みません。

世論の力、住民監視の姿勢の果たす役割は、大きいか感じます。

21戸は不要な支出

議員研修問題で監査委

比企広域小川町など六町で構成する小川地区衛生組合（管理者は松本繁夫小川町長）が昨年行つた議員研修で違法な公金支出があつたとして、比企広域小川町に対する監査請求をしており、同組合は返還を求めていた議員請求で、同組合監査委員は二日までに約二十一万円について返却する旨を述べた。

「必要な支出と判断する」こと、同組合管理者に対する三十日迄に必要な措置をとることを求める勧告を行った。監査請求していたのは、同郡郷土の沿岸登美子町議ら同組合会員の住民十人。指揮官でしたのは、昨年がこの調査はじめた頃議員は、このうち旅費から支出されるべきであることを重複して支出されている。「議員研修は、議員会議費は本来経費計約七十六万円を返還するよう求めている」と、同監査委員は、このうち宿泊に使った議員会食費は、その後の課題として検討していないとして、おむね要当なものと考へる。評議會にかかる議員会費の額を公金として支出することは是非を公金として指揮通り、適正な支出がなされるとして事務処理の早期化を図り、議員会費を見直すべきことなどを改善する方針を取っている。

1997年
5月3日
埼玉新聞

小川地区衛生組合は、監査結果によると、「重複支出」と判断された。

ついで、議員会議費、議員会費の額について今後は適正な事務処理を公金の無駄が指摘されており、食費については細かい注意を払い、慣例によると、事務処理の改善を要望している。

- 私の質問は、①河川の流量と公共下水道について
②ダイオキシン対策について 6月議会定例会は、11日からです。
③性犯罪の防止などについて 一般質問は、12. 13日です
④介護保険法成立と山町ゴールドプランの見直し
⑤町民の情報交換の場に、学校教育にインターネットを取り入れるなどです。